

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 松濤会	代表者	松本定信	法人・ 事業所 の特徴	市役所や銀座通り等、大通りに面した中心街に位置しており、地域社会との交流や接点を持ちながら、生活を維持できるよう支援しています。「お望みの時に、お望みの介護を」を目指し、通いを中心に、宿泊や訪問を柔軟に組み合わせて、馴染みの職員が馴染みの場所で、通い・宿泊サービスを提供し、訪問も馴染みの職員が対応しますので利用者様、ご家族様も安心です。また、特別養護老人ホーム「助川サテライト」を併設しており、助川サテライト利用者様、ご家族様との交流も多く、家庭的な雰囲気が楽しめます。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護事業所 銀砂台「鹿島町クラブ」	管理者	石川美也子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
		1名	2名	1名	1名				5名	

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	些細な事でも、ヒヤリハットを出し、事故につながらないようにする。 また、リスクマネジメント研修への参加を計画し、職員個々のスキルアップをはかる。	昨年度より、ヒヤリハット件数が多く、職員間で改めて確認することができた。 リスクマネジメント研修へ参加し、他職員へ報告、スキルアップにつなげていきたい。	担当制を取り入れたため、自分の担当以外は、重要視しない傾向となってしまったことが、最初の段階で情報が共有できなかった原因ではないかと考えられる。	会議録など、書面での情報を全職員が確認し、情報の共有をはかる。 次回自己評価の際には、事業所としての評価を行うようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	外出したいとの希望者に対し、その都度付き添い、対応する。	近所への散歩や、おやつの買い物 また、動物園などに行った。 ヒヤリで玄関より外へ出た方もいたが、その都度職員が付き添った。		季節の物を飾り付けることにより、季節感のある環境をつくる。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>市報の配布を通して、地域住民との交流を図る。 また、施設行事への参加の声掛けを継続的に行う。</p>	<p>昨年度は、各家庭に市報を配布した際に会話等を通じて、交流を図ることができた。今年度より回覧形式になってしまったことから施設行事への案内を市報に入れている。</p>	<p>地域との関わりは多いように見受けられる。</p>	<p>訪問や散歩に行った際は、近隣住民へ笑顔で挨拶するよう心掛ける。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>外出を定期的に企画し、気分転換を図る。</p>	<p>年間の簡単な計画を表にし、出来る限り気分転換が図れるように行っている。</p>	<p>利用者が家族と外出する機会が少ないと思えるため、施設職員との外出の機会は数多くあった方が良いと考える。</p>	<p>個人のサークル活動等、現在の状況を優先した利用を提案し、住み慣れた地域への外出を増やしていく。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営推進会議の開催日には、施設の案内や、利用者の紹介なども行っていけるように努力する。</p>	<p>施設の案内だけにとどまっている。</p>		<p>昨年の改善計画が、達成できなかったことにより、今年度も施設の案内や、利用者の紹介など行っていきたい。 また、些細な苦情でも通常のサイクルにて対応し、統一した対応ができるように努力していく。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>避難訓練に地域住民の参加を願う。 防災訓練の様子をホームページへ掲載する。</p>	<p>平成 27 年 3 月の防災訓練に、町内会会長が参加して頂くことができた。ホームページには、防災訓練の他、クラブ内での出来事を掲載している。</p>	<p>防災計画が重要であることにより、計画を目に見えるかたちで表示してみようかと考える。</p>	<p>防災計画をホームページに掲載する。</p>